

- 2 0 2 6 -

公開研修会のお知らせ

秋のセミナー版

保育、教育の現場でニーズの高いテーマについて、
実践経験豊富な講師陣がわかりやすくお伝えします。
1日で1つのテーマ（3講義）を学ぶ、対面によるセミナーです。

秋のセミナー 日程とタイトル

11月1日（日）	S9 困っている行動への理解と対応
11月3日（火・祝） 同日程で同時開催	S10 愛着や発達の課題を抱えた子どもたちの理解と支援
	S11 発達障害・知的障害のある子の「感覚」への支援
11月8日（日） 同日程で同時開催	S12 幼児期の自己コントロール力を高める
	S13 障害のある子の発達を促す関わり方 — 発達段階をふまえた教材・教具の活用
11月15日（日）	S14 遊びを通して発達を促す — 感覚、生活動作へのアプローチ
11月21日（土）	S15 感情をコントロールする力を高める
11月22日（日）	S16 指導に活かす発達の評価 — WISC-Vの読み取り方と対応策の考え方



The Japanese Association on Intellectual and Developmental Disorder

発達協会

公益社団法人 発達協会

<https://www.hattatsu.or.jp>

2026秋のセミナー 開催要項

時間帯 受付9:45～ 第1講 10:15～11:45 第2講 13:00～14:30 第3講 14:50～16:20

受講料 1 セミナー 9,900円(税込) ※セミナー単位の申込みです。
正会員・賛助会員は会員価格 8,910円(税込)

会場 東京ファッションタウン (TFT) ビル東館9階研修室
〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11
最寄り駅：東京ビッグサイト駅(ゆりかもめ)徒歩1分 国際展示場駅(りんかい線)徒歩5分

定員 120名～160名(定員になり次第締め切ります)

お申込み(チケット購入方法と受講までの流れ)

希望するセミナーのPeatixページで、お一人様1枚のチケットをご購入ください。

<https://peatix.com/group/11688302> →

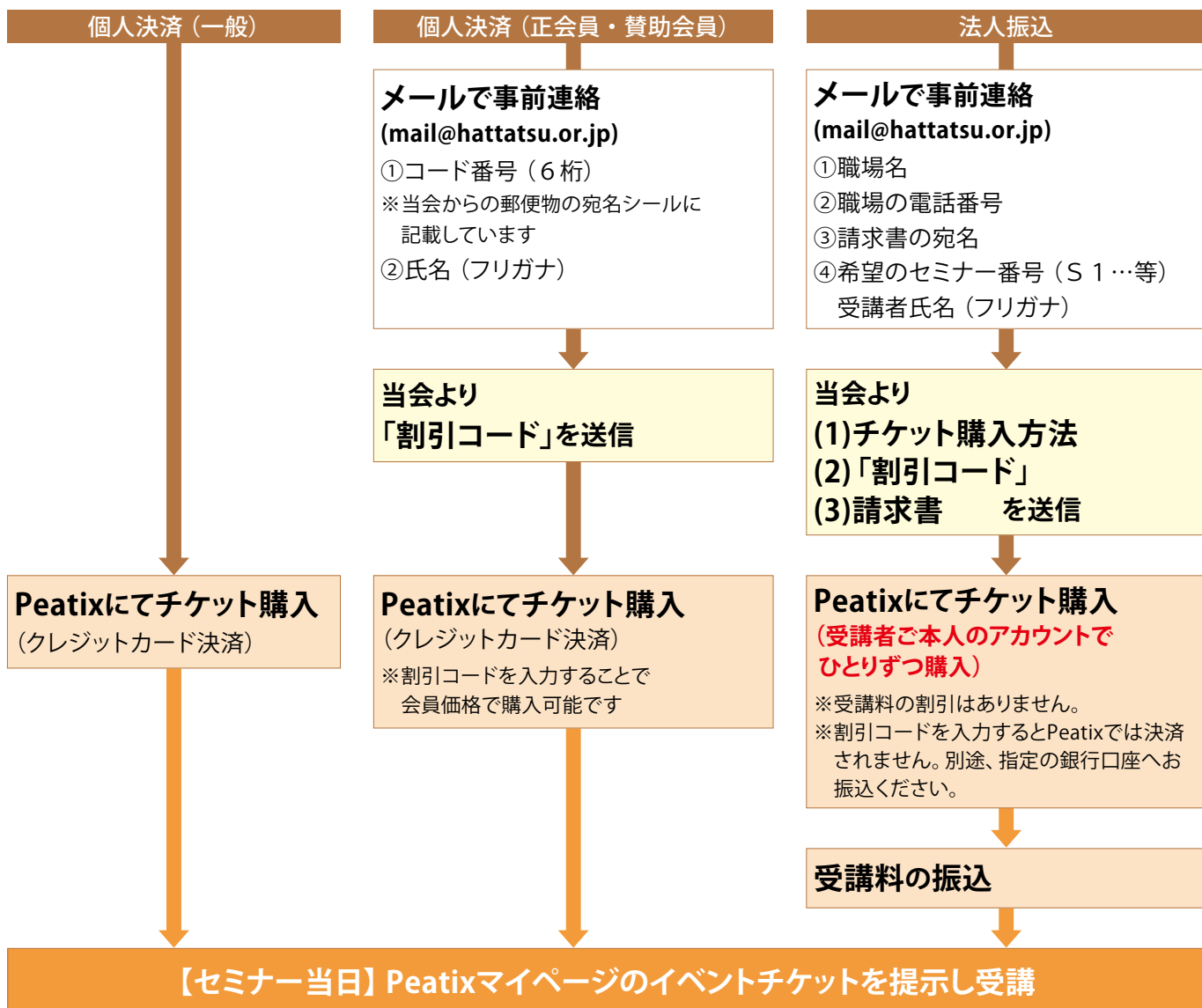


※正会員・賛助会員の方や法人振込をご希望の方は、事前連絡が必要です。詳細はPeatixをご参照ください。

※チケット購入には、Peatixアカウントが必要です。新規登録またはログインの上でご購入ください。

※チケット販売期限やキャンセル、ご返金が可能な期限については、セミナーごとに異なります。申込みされるセミナーのPeatixページでご確認ください。

※チケットを購入された時点で申込み完了となります。チケットを購入されていない方は参加できません。



キャンセル

- ・キャンセル、ご返金が可能な期限内にご連絡をいただいた場合、キャンセル処理をいたします。
- ・キャンセルの場合は、必ずPeatixチケット画面にある「主催者へ連絡」または「問い合わせ」からご連絡ください。法人振込チケットの場合は、ご担当者から発達協会へ直接ご連絡ください。
- ・いかなる理由であっても、別のセミナーへの振替は行っておりません。

ご注意

- ・同時開催のセミナーは、どちらか1つのセミナーしか申込みできません。
- ・申込み後のご案内はすべてメールで行いますので、「@peatix.com」からのメールを受け取れるように設定してください。
- ・社会状況の変化により、中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・会場の都合により、会場での書籍の販売は行っておりません。

お問合せ**公益社団法人発達協会**

〒115-0044 東京都北区赤羽南2-10-20 TEL03-3903-3800

ホームページ <https://www.hattatsu.or.jp> メールアドレス mail@hattatsu.or.jp**2026年11月1日(日) 1セミナー****S9****困っている行動への理解と対応**

対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————|—————|—————| 青年

様々な行動の問題。子ども自身も困っているかもしれない、という視点も

怒っても、叱ってもなかなか変わらない「行動の問題」。周りも対応に苦慮しますが、実は子ども自身も困っているのかもしれない。子どもの見方を変えるヒントとともに、発達支援の場で具体的にどう関わればよいかを解説します。発達障害・知的障害のある子の事例を中心に、得意なことを活用するプログラムや子どもと一緒に考える対策も紹介。小児精神・神経科医の立場から考えられる「対応のコツ」についてもお伝えします。

11月1日(日)	10:15 ~ 11:45	困っている行動への理解と対応のコツ	広瀬宏之（横須賀市療育相談センター）
	13:00 ~ 14:30	行動に焦点を当てたアプローチの実際 ——応用行動分析（ABA）の活用	山本淳一（慶應義塾大学/東京都立大学）
	14:50 ~ 16:20	衝動的な子どもの理解と対応の実際 ——子どもと一緒に考える対策	三島節子（NPOフトゥーロLD発達相談センターかながわ）

2026年11月3日（火・祝） 2セミナー 同時開催

S10

愛着や発達の課題を抱えた子どもたちの理解と支援



対象年齢： 幼児 | | | | | | | | | 青年

あたたかい関わりで子どもたちに寄り添いましょう

「虐待」「毒親」といった言葉が注目されている近年、愛着形成に課題のある子どもへのケアにも関心が高まっています。一方で、「愛着障害」という言葉が拡大解釈されている現状も……。支援者は、対人関係がうまくいかない、反抗的な態度を取るといった子どもをどう理解し、関わればよいのでしょうか。愛着の形成が遅れやすい発達障害との関連も含め、問題点を正しく理解し、支援に活かすためのセミナーです。

11月3日(火祝)	10:15 ~ 11:45	アタッチメントに基づく支援の考え方	工藤晋平（名古屋大学）
	13:00 ~ 14:30	愛着や発達の課題を抱えた子どもたちの支援の実際——困難な事例を通して	松久眞実（桃山学院大学）
	14:50 ~ 16:20	愛着や発達の課題を抱えた子どもたちの支援の実際——具体的な対応について	松久眞実（桃山学院大学）

S11

発達障害・知的障害のある子の「感覚」への支援



対象年齢： 幼児 | | | | | | | | | 青年

発達障害・知的障害のある子の感覚は様々です。子どもの見立てに役立ちます

発達障害・知的障害のある子の支援において「感覚」の問題に関する知識は必須となりつつあります。発達障害のある子の複雑な「感覚」を丁寧に解説し、生活を阻害しないためにどのように対応したらよいのか、感覚面のアセスメントにもふれて、具体的な事例とともに支援の実際を紹介します。現場でより深く子どもを理解するための視点を学びませんか。

11月3日(火祝)	10:15 ~ 11:45	「感覚」の過反応と低反応	岩永竜一郎（長崎大学）
	13:00 ~ 14:30	感覚面のアセスメント	岩永竜一郎（長崎大学）
	14:50 ~ 16:20	「感覚」の問題への支援の実際	岩永竜一郎（長崎大学）

2026年11月8日(日) 2セミナー 同時開催

S12

幼児期の自己コントロール力を高める



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————| 青年

人との関わりや行動に関与する自己コントロール力。なにから、どう取り組みればいいの？

子どもは日々学び、成長します。それは発達障害のある子どもも同様です。成長の過程で、人との関わりから様々なことを学び、持っている力を発揮するためには、自分をコントロールする力も必要です。幼児期から発達していくと考えられている自己コントロール力。発達段階に合わせた支援の実際とともに、子どもが失敗してもまた立ち上がれるようなしなやかさである「レジリエンス」についてもお伝えします。

11月8日(日)	10:15 ~ 11:45	自分をコントロールする力 ——実行機能の発達を中心に	森口佑介 (京都大学)
	13:00 ~ 14:30	「レジリエンス」とは ——自分と折り合いをつける力	藤野 博 (東京学芸大学)
	14:50 ~ 16:20	自己コントロール力を高める支援の実際 ——社会性の発達をふまえて	小倉尚子 (発達協会)

S13

障害のある子の発達を促す関わり方 ——発達段階をふまえた教材・教具の活用



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————| 青年

「子どもに合った教え方」のヒントをお伝えします

支援者にとって、教材活用は永遠のテーマとも言えるのではないのでしょうか。なにを選び、どう教えたらよいのか、迷う先生は多いはずです。このセミナーでは、初期の認知発達を促す教材活用から、生活にも活かせるような教材作成、読み書きに重点を置いた支援など、様々な角度から教材・教具について学びます。具体的な支援例をもとに、発達段階に合わせた教材活用について考え直してみませんか？

11月8日(日)	10:15 ~ 11:45	「感覚と運動の高次化理論」による子どもの理解と支援	池畑美恵子 (淑徳大学)
	13:00 ~ 14:30	教材作成の考え方 ——特別支援学校での実践をふまえて	佐藤義竹 (筑波大学附属大塚特別支援学校)
	14:50 ~ 16:20	読み書きの発達とその支援	丹治敬之 (筑波大学)

2026年11月15日(日) 1セミナー

S14

遊びを通して発達を促す —— 感覚、生活動作へのアプローチ



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————| 青年

子どもも大人も楽しみながら、プログラムを進めましょう

生活や学習の中で、体の使い方や道具の扱いがうまくいかずに困っている子がいます。苦手意識から練習が進まないことも。「遊び」として取り入れながら、できることを増やしていきたいものです。また、感覚統合の視点を学ぶことが子どもの感覚や経験の幅を広げていくことにも繋がります。園や発達支援の場で活用できる「遊び」の数々を紹介します。

11月15日(日)	10:15 ~ 11:45	生活動作を育てる遊び ——作業療法の視点から	笹田 哲(神奈川県立保健福祉大学)
	13:00 ~ 14:30	感覚を育てる遊び ——感覚統合の視点から	山西葉子(東京都立大学)
	14:50 ~ 16:20	感覚を育てる遊びの実際 ——園や教室で取り組めること	山西葉子(東京都立大学)

2026年11月21日(土) 1セミナー

S15

感情をコントロールする力を高める



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————| 青年

感情のコントロールは社会適応に大きく関わります

発達障害のある子の中には、感情のコントロールが苦手な子が多くいます。困っているのは周囲の人たちだけでなく、本人も同じです。感情を乱しがちな子は付き合いづらく、その悪循環は自信喪失や二次障害につながりかねません。自分をコントロールして社会に適応する力を育てるために、支援者はなにができるのでしょうか。このセミナーでは、脳の働きから感情コントロールのしくみを押さえた上で、実際の支援を学びます。

11月21日(土)	10:15 ~ 11:45	脳の働きから子どもを理解する ——神経心理学の視点から	坂爪一幸(早稲田大学)
	13:00 ~ 14:30	感情リテラシーを育む子どもへの声かけの仕方	小高佐友里(東京成徳大学)
	14:50 ~ 16:20	感情爆発をくり返す子どもの認知の歪みと認知行動療法	松浦直己(三重大学)

2026年11月22日(日) 1セミナー

S16

指導に活かす発達の評価 — WISC-Vの読み取り方と対応策の考え方



対象年齢： 幼児 | | | | | | | 青年

検査の取り方ではなく、結果を解釈し、指導に活かす方法を学びます

指導・支援を行う上で、知能検査は客観的な指標として活用されています。その解釈や活かし方には十分な知識と経験が必要です。このセミナーではWISC-Vを取り上げ、新たに加わる関連指標の下位検査の解説も含め、用語や数値の意味だけでなく、子どもの実態に合わせた指導例・支援例をお伝えします。なお、具体的な検査の内容についてはふれません。子どもの困難さの背景を捉え、検査結果を指導・支援に活かすためのセミナーです。

11月22日(日)	10:15 ~ 11:45	WISC-Vの概要 ——関連指標の下位検査の解説も含め	大六一志（公認心理師）
	13:00 ~ 14:30	WISC-Vの結果から読み取る子どもの困難の捉え方と対応の実際①	大六一志（公認心理師）
	14:50 ~ 16:20	WISC-Vの結果から読み取る子どもの困難の捉え方と対応の実際②	大六一志（公認心理師）

2025 秋のセミナー アンケートより

DCDは運動が苦手なイメージが強く、今日の講義で生活上の困りごとの視点にハッとしました。こんなに生きること、生活していくことに直結しているのだから、色んな分野の人に理解してほしいし、職場の人にも学んで欲しくなりました。

保護者との関わりはとても難しいですが、親の気持ちに寄り添いながら今後も対応していきたいです。

支援の仕方が分からず、つい手を貸したり、口を出したりしてしまいがちだったので、子どもたちが自分で考えて生活ができるような伝え方をしていくことが大切だと感じました。

困る行動＝子供が困っていて、その対処法として、困る行動をしているとわかり、視点が変わってきました。すぐ辞められる行動ではないですが、成功体験を積んでいけば少しずつ変えられるという事例を聞いて、今後の支援に活かしたいと思いました。

一人一人の発達段階に応じて、教材の選び方、提示の仕方、大人の関わりを変えていくことが大切であると学びました。

実際の療育場面の話題と合わせた説明がとても分かりやすかったです。発達に凸凹のある子の部分的な学び残しに気づくためにも、定型発達をよく知ることの重要性と社会性の発達段階に合わせた関わり、土台作りが大切なことが学べました。

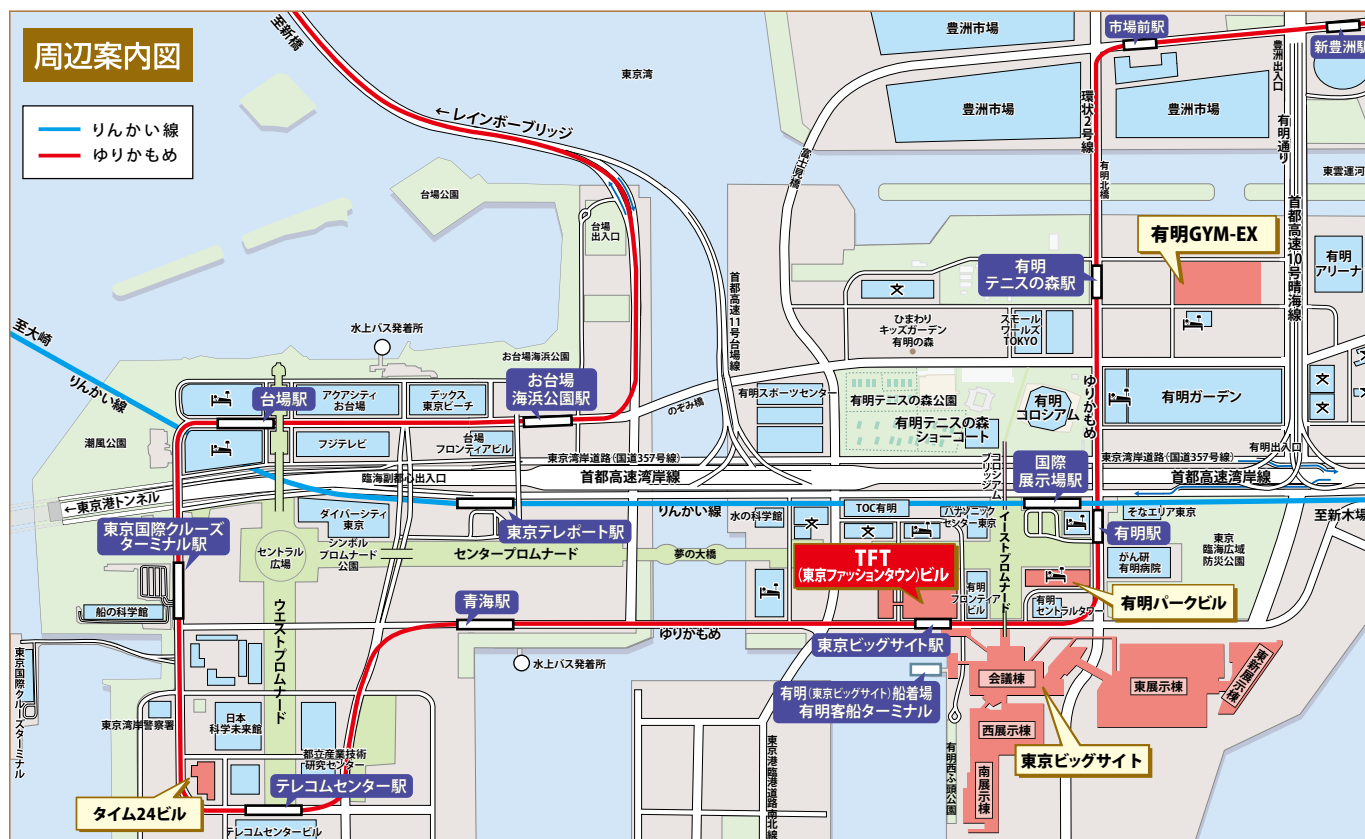
脳の働きから感情について詳しく知見を得ることができました。

WISC-Vの具体的な読み取り方が分かり、とても勉強になりました。

「感覚」という部分に関して改めて正しく認識出来て、子供達の反応が敏感であったり、鈍感であったりする時、その子らしさを尊重し、正しい感覚が維持出来るように対策を立てることが大事だと思いました。

遊びには子どもの感覚を育てる要素がたくさんあることを改めて気付かされました。そして楽しく遊ぶことが1番大切なのだとも思いました。

会場 東京ファッションタウン (TFT) ビルへのアクセス



会員募集

発達協会では、活動を支えてくださる正会員・賛助会員を募集しています。

会員になると、様々な会員特典が受けられます。

賛助会員の場合（一口5,000円）

年間購読料4,884円の月刊誌『発達教育』が追加料金なしで毎月届きます。

対面セミナーが会員価格で受講できます。

正会員の場合（一口10,000円）

賛助会員の特典に加え、当協会の事業を決定する会員総会で1票を投じる権利が得られます。

入会を希望される方には、当会の活動を紹介するパンフレットと申込みハガキをお送りします。申込みハガキをご返送いただき、申込みが受理された段階で入会となります。入会后、月刊誌とともに会費の振込用紙をお送りします。ぜひホームページからお問合せください。

月刊誌をご購読いただいている方もセミナーへの参加を検討されるこの時期に、ぜひ会員への切り替えを考えてみてはいかがでしょうか。

お問合せお待ちしております。



発達協会

公益社団法人発達協会

〒115-0044 東京都北区赤羽南2-10-20 TEL03-3903-3800

ホームページ <https://www.hattatsu.or.jp> メールアドレス mail@hattatsu.or.jp

